



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 東洋鋼板株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5453 URL <http://www.toyokohan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 厚夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 宮地 正文 (TEL) 03-5211-6200  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	89,249	5.9	4,556	77.7	4,855	76.9	3,669	135.4
25年3月期第3四半期	84,286	△3.3	2,564	△29.7	2,745	△27.3	1,558	△41.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,543百万円(150.6%) 25年3月期第3四半期 1,813百万円(△9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.42	—
25年3月期第3四半期	15.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	128,312	83,414	65.0
25年3月期	123,061	81,244	64.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 83,414百万円 25年3月期 79,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年2月4日)公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,800	9.8	6,000	102.3	6,200	88.0	4,400	128.3	43.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	100,800,000株	25年3月期	100,800,000株
26年3月期3Q	50,137株	25年3月期	48,119株
26年3月期3Q	100,751,188株	25年3月期3Q	100,752,679株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	9.3	4,900	122.6	5,500	92.9	3,800	123.9	37.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、大胆な金融政策や各種財政政策の効果が発現するなかで、企業収益や雇用情勢が改善するなど、景気回復への明るい兆しが見えはじめました。

鉄鋼業界は、好調な建設向けに加えて自動車や産業機械などの製造業向けで内需が回復に向かいましたが、アジア地域での鉄鋼需給の緩和やエネルギー価格の高騰などの影響もあり、先行きの不透明感を払拭できないまま推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、鋼板関連事業を中心に国内外への積極的な拡販活動を推進するとともに、歩留向上や経費低減などのコストダウンに注力することで、収益基盤の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期の業績は次のとおりとなりました。

## 第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

売上高	892億49百万円（前年同期比 5.9%増）
営業利益	45億56百万円（前年同期比 77.7%増）
経常利益	48億55百万円（前年同期比 76.9%増）
四半期純利益	36億69百万円（前年同期比 135.4%増）

事業別の概況は次のとおりです。

## ①鋼板関連事業

売上高	648億44百万円（前年同期比 1.3%減）
営業利益	22億47百万円（前年同期比 201.2%増）

## &lt;缶用材料&gt;

缶用材料は、主力の飲料缶材が缶コーヒーの販売不振の影響を受けて低迷したことに加え、そのほかの容器用途も減少し、前年同期に比べ減収となりました。

## &lt;電気・電子部品向け&gt;

電気・電子部品向けは、車載用の電池用途の需要が堅調に推移しましたが、そのほかの用途の販売数量が減少したことにより、前年同期に比べ減収となりました。

## &lt;自動車・産業機械部品向け&gt;

自動車・産業機械部品向けは、ベアリングシール用途やガスケット用途の販売数量の回復により、前年同期に比べ増収となりました。

## &lt;建築・家電向け&gt;

建築・家電向けは、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も高まり、ユニットバス内装材や玄関扉の販売数量が増加したことに加え、冷蔵庫扉材の販売数量が前年同期並みまで回復したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鋼板関連事業全体としては前年同期に比べ減収となりましたが、コスト削減効果により増益となりました。

## ②機能材料関連事業

売上高	203億22百万円（前年同期比 43.0%増）
営業利益	17億65百万円（前年同期比 33.6%増）

## ＜磁気ディスク用アルミ基板＞

磁気ディスク用アルミ基板は、データセンターなどで保存されるデータ量の増大に伴い、大容量ストレージ用途の高品質基板の受注が増加したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

## ＜光学用機能フィルム＞

光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場において品質優位性を認められ着実に浸透したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、機能材料関連事業全体としては前年同期に比べ増収、増益となりました。

## ③その他事業

売上高	59億96百万円（前年同期比 0.1%減）
営業利益	5億29百万円（前年同期比 15.0%増）

## ＜梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金＞

梱包資材用帯鋼は、販売数量が増加したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

コイル結束装置などの機械器具は、装置本体の販売数量が減少したことにより、前年同期に比べ減収となりました。

硬質合金は、主力の射出成形機部品の販売は前年同期並みに推移しましたが、プラスチック金型の販売数量が増加したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、その他事業全体としては前年同期並みの売上高となり、硬質合金の生産性向上の効果により増益となりました。

なお、各事業の売上高、営業利益は事業間の取引による金額を含んでおります。

## （2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ52億50百万円増加して、1,283億12百万円となりました。このうち流動資産は、たな卸資産は減少したものの、売上債権が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ44億90百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産は減少したものの、保有株式の時価の上昇による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ7億59百万円増加しました。

負債は、仕入債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ30億81百万円増加して448億98百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21億69百万円増加して834億14百万円となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済の回復や為替の円安推移といった事業環境の好転に加え、当社が期初から取り組んでまいりました拡販や総コスト削減などの成果により、平成26年3月期における通期連結業績予想および通期個別業績予想をそれぞれ修正いたします。

## 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	119,500	5,000	5,100	3,600	35.73
今回発表予想（B）	119,800	6,000	6,200	4,400	43.67
増減額（B－A）	300	1,000	1,100	800	
増減率（%）	0.3	20.0	21.6	22.2	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	109,112	2,966	3,298	1,927	19.13

（参考）

## 平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	106,400	3,800	4,300	3,300	32.75
今回発表予想（B）	106,500	4,900	5,500	3,800	37.72
増減額（B－A）	100	1,100	1,200	500	
増減率（%）	0.1	28.9	27.9	15.2	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	97,400	2,200	2,851	1,697	16.85

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,306	20,352
受取手形及び売掛金	18,691	22,760
たな卸資産	25,358	24,726
その他	4,342	4,428
貸倒引当金	△309	△388
流動資産合計	67,390	71,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,137	15,754
機械装置及び運搬具(純額)	16,468	16,223
土地	11,943	11,878
建設仮勘定	1,313	1,794
その他(純額)	1,629	1,487
有形固定資産合計	47,493	47,138
無形固定資産		
投資その他の資産	491	545
投資有価証券	3,949	4,971
その他	3,750	3,785
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	7,687	8,747
固定資産合計	55,671	56,431
資産合計	123,061	128,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,011	12,647
短期借入金	16,072	16,140
未払法人税等	862	1,581
役員賞与引当金	56	—
その他	5,465	5,325
流動負債合計	33,468	35,695
固定負債		
社債	5,000	5,000
退職給付引当金	1,473	2,175
役員退職慰労引当金	22	29
PCB対策引当金	363	167
その他	1,489	1,830
固定負債合計	8,348	9,202
負債合計	41,816	44,898
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,040	5,040
資本剰余金	6	6
利益剰余金	74,987	77,850
自己株式	△20	△21
株主資本合計	80,013	82,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	1,223
繰延ヘッジ損益	—	△12
為替換算調整勘定	△764	△672
その他の包括利益累計額合計	△201	538
少数株主持分	1,432	—
純資産合計	81,244	83,414
負債純資産合計	123,061	128,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	84,286	89,249
売上原価	73,691	76,644
売上総利益	10,595	12,604
販売費及び一般管理費	8,031	8,048
営業利益	2,564	4,556
営業外収益		
受取利息	39	41
受取配当金	102	135
受取賃貸料	107	106
為替差益	73	126
その他	205	121
営業外収益合計	528	531
営業外費用		
支払利息	157	140
その他	190	92
営業外費用合計	347	232
経常利益	2,745	4,855
特別利益		
固定資産売却益	—	831
負ののれん発生益	—	230
特別利益合計	—	1,062
特別損失		
弁護士費用等	—	134
関係会社出資金評価損	—	87
関係会社貸倒引当金繰入額	—	63
投資有価証券評価損	275	—
特別損失合計	275	285
税金等調整前四半期純利益	2,469	5,631
法人税等	964	2,078
少数株主損益調整前四半期純利益	1,505	3,552
少数株主損失(△)	△53	△116
四半期純利益	1,558	3,669

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,505	3,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	660
繰延ヘッジ損益	53	△12
為替換算調整勘定	106	342
その他の包括利益合計	308	990
四半期包括利益	1,813	4,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,824	4,408
少数株主に係る四半期包括利益	△11	134

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,208	14,215	5,863	84,286	—	84,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,519	—	137	1,657	△1,657	—
計	65,728	14,215	6,000	85,944	△1,657	84,286
セグメント利益	746	1,321	460	2,528	36	2,564

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,106	20,322	5,820	89,249	—	89,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,738	—	176	1,914	△1,914	—
計	64,844	20,322	5,996	91,163	△1,914	89,249
セグメント利益	2,247	1,765	529	4,542	13	4,556

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。